

# 地域経済活性化に向けた取組みの現状と今後の方向性(埼玉県)

- 関東財務局では、埼玉県内本店所在の9つの地域金融機関（銀行、信用金庫、信用組合）のトップを中心に、地方自治体、大学、商工団体を交えて、埼玉県の5～10年後の将来像、地域経済活性化の取組みの方向性について意見交換を実施
  - 埼玉県は成長のポテンシャルはあるが、①高齢化の進展、②中小企業を巡る構造変化、③観光づくり、④公共インフラの更新といった課題があるとの指摘
  - 地域金融機関において課題に対応した取組みが進められているが、地方自治体、商工団体、大学などの関係機関の連携が不可欠。自治体からは、自治体施策との連動や企画・開発サイドでの連携を求める声あり
- ⇒ **地域経済活性化を促進するため、地域金融機関と地方自治体等をつなげる「意見交換の場」を提供**

## 埼玉県を取り巻く状況

### 【特色】

都市の顔と田園の顔をあわせ持つ独特の地域性があり、バラエティに富んだ産業が集積

### 【5～10年後の姿】

#### ① 強み

- ・ 圏央道整備の加速化により、交通のハブ化が促進し、企業の転入超過が継続
- ・ 県内総生産は拡大基調で推移するなど成長のポテンシャルあり

#### ② 金融機関から見た主な課題

##### ① 高齢化の進展

全国で最も早いペースで高齢化が進行

##### ② 中小企業を巡る構造変化

後継者問題が深刻、技術力・競争力のある企業を中心とした事業再編の増加

##### ③ 観光づくり

一人当たりの観光消費額単価が低い状況

##### ④ 公共施設マネジメントの取組み

公共インフラの老朽化に伴う更新費用が膨大

### 地方自治体や商工団体の取組み

- ① 埼玉県 ⇒ 産業おこし策として「海外展開支援」「企業誘致」「成長産業創出・参入」
- ② さいたま市 ⇒ 世界大会の誘致、研究開発型ものづくり企業の新規参入・事業拡大の促進や企業誘致など
- ③ 熊谷市 ⇒ 「中心市街地活性化」「流通センター周辺(問屋町)の産業拠点化」が重点課題
- ④ 埼玉県商工会連合会 ⇒ 青年部を中心に自然、特産品などの地域資源を切り口とした各種イベント開催

## 地域金融機関の役割と取組み

### 【取組みの視点】

#### ① 高付加価値営業の推進

課題解決型営業による「差別化」を図ることが重要  
⇒ 職員のレベルアップや外部専門家とのネットワークの充実・強化

#### ② 目利き力の向上

借り手企業を育成するという視点が重要であり、「目利き力」の向上が不可欠  
⇒ 研修(将来を見据えた審査能力)と人事評価が課題、経営者とのリレーションも重要

### 【課題への対応や考え方の方向性】

#### ① 高齢化の進展

高齢者・女性向け金融サービスの強化、医療・介護分野の取組み強化など

#### ② 中小企業を巡る構造変化

ライフサイクルに応じたコンサルティング機能発揮のため、外部機関と協力してソリューションを提供する必要(特に事業承継・事業再編への支援)

#### ③ 観光づくり

ネットワーク力を有する地域金融機関が、地方自治体や商工・経済団体などにアイデアを提供する取組みが有意義

#### ④ 公共施設マネジメントの取組み

PPPやPFIIに係る外部専門機関との連携が重要、民間資金活用推進機構への人材派遣など

### 【地方自治体などの関係機関との連携】

地方自治体、商工団体、大学などの関係機関が連携した取組みが不可欠。地方自治体からは「自治体施策と連動した融資に係る連携体制の構築」や「企画・開発サイドでの連携」などを求める声あり。

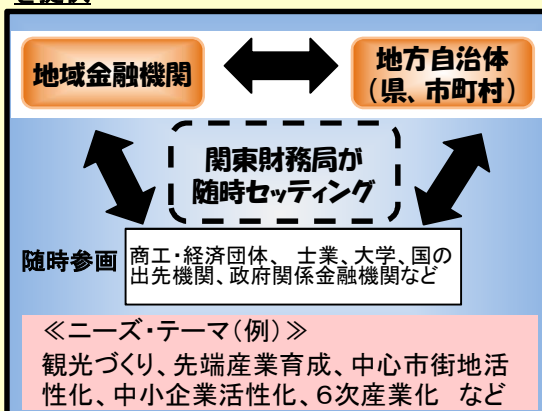
## 関東財務局の取組みの方向性

### ① 取組み姿勢

- ・ 地域金融機関には、単なる資金供給者としての役割にとどまらず、成長分野への新規融資や経営改善支援等を通じた地域貢献を促す
- ・ 地方自治体や商工・経済団体、他金融機関等との連携による地域経済活性化に向けた取組みへの積極的な参画を促す

### ② 地域経済活性化に向けた取組み

関東財務局が「ハブ」となり、地域金融機関や地方自治体を中核とした関係機関のニーズに基づくテーマに応じて、関係機関が随時参画するフレキシブルな「意見交換の場」(プラットフォーム)を提供



地域経済活性化